

令和 2 年度

第 1 回朝霞市博物館協議会次第

日 時 令和 2 年 1 0 月 3 0 日 (金)
午後 2 時～
場 所 朝霞市博物館 講座室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 令和元年度事業報告

(2) 令和 2 年度事業計画及び進捗報告

(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

(4) その他

4 閉 会

※ 閉会后、お時間がございましたら、ぜひ、収蔵資料紹介展示「当館における資料の三次元計測技術の試験的導入に向けての取り組みについて」、ギャラリー一展示「写真展～旧高橋家住宅の秋模様～」をご観覧ください。

令和2年度 第1回博物館協議会 資 料

日 時 令和2年10月30日(金) 午後2時

会 場 朝霞市博物館 講座室

令和元年度事業報告

令和元年度(2019年度)朝霞市博物館事業報告

平成31年(2019年)4月1日(水)～令和2年(2020年)3月31日

1 令和元年度利用統計

年 度	開館日数	入館者数	入館・利用者数 (団体含)	学校団体 (うち出張対応数)		一般団体 (うち出張対応数)	
				団体数	人数	団体数	人数
令和元年度	206日	30,230人	31,770人	36 (15)	2,924人 (1,540人)	170 (0)	1,777人 (0人)
平成30年度	280日	40,924人	42,919人	42	3,558人	215	2,523人
平成8 ～29年度	6,033日		1,060,429人	817	60,967人	2,526	34,053人
合 計	6,519日		1,135,118人	895	67,449人	2,911	38,353人

2 令和元年度事業報告

※展示の参加者数は入館・利用者数から出張事業人数を除いたもの

事業名		趣 旨・内 容	対 象	日 程・講 師	参加者数 (人)
常 設 展 示	考古分野 「遺跡が語る朝霞」 歴史分野 「陸の道と水の道」 民俗分野 「水となりわい」	朝霞の歴史や文化について、遺跡とその出土品、川越街道と膝折宿、舟運と東上線、水車利用の伸銅を取り上げ、エポック展示として紹介した。	—	通年 7月20日(土) ～3月31日(火) ※4月1日(月)～7月19日(金)は展示室耐震工事により休館	30,230
	民俗分野 「むかしの暮らし」	昭和30～40年代頃のくらしの風景や道具を紹介した。	—	令和2年 1月8日(水) ～3月31日(火) ※企画展・テーマ展示開催の7～12月は入替撤収	8,295
	美術・工芸分野 「朝霞の美術・工芸」	市内に伝わる染色、仏像・神像を取り上げ紹介した。	—	令和2年 1月15日(水) ～3月31日(火) ※企画展・テーマ展示開催の7～12月は入替撤収	7,474
第 34 回 企 画 展	朝霞から見る古墳の出現～方形周溝墓から古墳へ～	埼玉における古墳時代の幕開けには、その指標とされる前方後円墳の姿が見られない。そこで、墳墓とその出土土器に着目し、朝霞地域の側から見た古墳の出現、それに伴う当時の人の動きや地域色について紹介した。	—	11月9日(土) ～12月15日(日)	4,374
	講演会① 関東地方の古墳出現について	古墳時代研究の意義と国家形成論を概観するとともに、東日本や関東地方の出現期古墳事例から列島史を見直した。	一般	12月1日(日) 午後2時～3時30分 日本考古学協会員 西川修一 氏	73
	講演会② 土器に孔をあけるといふことー弥生～古墳の穿孔土器ー	弥生～古墳時代の穿孔土器について、穿孔方法や墳墓での配置、さらには葬送儀礼におけるその意味を学習した。	一般	12月7日(土) 午後2時～3時30分 (公財)横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター 調査研究員 古屋紀之 氏	52

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
第34回企画展	考古学体験講座① 火おこしに挑戦!	木製発火具による火おこし体験教室を実施した。	どなたでも	11月17日(日) ①午後1時30分～2時15分 ②午後2時30分～3時15分 当館学芸員 江原順	①7組 23 ②9組 25 48
	考古学体験講座② 鏡づくりに挑戦!	低融点合金と石膏鋳型による鏡の鋳造体験教室を実施した。	小学4～6年生	11月30日(土) 午前10時30分～午後2時30分 (正午～午後1時:昼休み) 当館学芸員 江原順	9
テーマ展示	1964 東京五輪写真展 —2020を迎える前に—	オリンピック1年前の時期に、オリンピック開催に向けての機運向上のため、1964年の東京オリンピックを写真等で振り返った。	—	7月20日(土) ～8月25日(日)	5,335
	朝霞市県展作品展	第69回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入選作品等23点を集めて紹介した。	—	9月7日(土) ～23日(月・祝) 協賛:朝霞市美術協会	3,638
	内覧会	協賛団体、出品作家及び関係者に展示を披露し、市民作家間の交流の場とした。	出品作家及び関係者	9月6日(金) 午前10時～11時30分	16
	丸沼芸術の森コレクション 麗しき花々・麗しき人々 —創設35周年を記念して—	創設35周年を迎えた「丸沼芸術の森」のコレクションから、「花」と「人」をテーマに厳選された31点の優品を紹介した。	—	10月5日(土) ～10月27日(日)	3,982
	オープニングパーティー	展示開催を記念し、フルート演奏、ギャラリートークとともに、講座室を会場に出席者歓談の場を設けた。	招待者及び出品作家	10月4日(金) 午後6時～7時30分	77
	ギャラリートーク	丸沼芸術の森学芸員による作品解説を実施した。	—	①10月5日(土) ②10月19日(土) 各回午後2時～3時 丸沼芸術の森学芸員 河野和子氏	①15 ②13 28
	パネルトーク	展示作品のうち、丸沼芸術の森を拠点に活躍する作家による自身の作品解説を実施する。	—	10月12日(土) 午後2時～3時30分 入江明日香氏(版画家) 榎本 洋二氏(陶芸家) 大橋 博氏(彫刻家) 儀保 克幸氏(彫刻家) 河 明求氏(陶芸家) 山本 靖久氏(洋画家)	台風のため 中止

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数(人)
ギャラリー展示	みんなあーちすと ～かお・かお・かお～	「かお」をテーマとした絵画作品を募集し、①ワークショップ参加者の部と、②本企画参加の保育園・幼稚園の部に分けて展示した。	—	①8月31日(土) ～9月8日(日) ②9月12日(木) ～23日(月・祝) *展示作品数 1,852点 ①586点②1,266点	①1,177 ②3,053 4,230
	ワークショップ	4種の絵画技法プログラムを用意し、上記作品を募集した。 ①フィンガーペイント ②パステルでぼかし絵 ③モザイク ④スタンプ	主に幼児・小学生とその保護者	7月20日(土) ～8月18日(日) ①7/20(土)～28(日) ②7/30(火)～8/4(日) ③8/6(火)～12(月・休) ④8/14(水)～18(日)	①231 ②212 ③202 ④212 857
	雑誌『ゴルフ』と朝霞ゴルフ場	昭和6年から15年まで刊行された雑誌『ゴルフ』に掲載された朝霞ゴルフ場の姿を資料やパネルで紹介した。	—	令和2年 1月25日(土) ～3月31日(火) *次年度継続事業 ～6月7日(日)	5,872
資料紹介展示	①雑誌から見る昭和初期のヘアスタイル ②戦地から届いたメッセージー軍事郵便にのせてー	博物館実習生2班が、それぞれテーマを設けて収蔵資料を紹介した。 ※展示ケース2台による	—	8月6日(火) ～9月23日(月・祝)	7,857
	ワタから糸へ	小学校1年生国語科「たぬきの糸車」に関連して、綿から糸が出来るまでについて博物館資料により紹介した。 ※展示ケース1台による	—	令和2年 2月13日(木) ～3月31日(火) *次年度継続事業 ～7月	3,374
生体展示	朝霞で見られる 水の生き物	ラウンジ脇にて、ギンブナやナマズ、ドジョウ、アメリカザリガニなどの生体展示を行った。	—	通年 7月20日(土) ～3月31日(火) *4月1日(月)～7月19日(金)は展示室耐震工事により休館	30,230
	博物館で生まれた カブトムシ	エントランスにて、当館飼育のカブトムシの生体展示を行った。	—	7月21日(日) ～8月31日(土)	5,767
歴史講座	太田道灌状を読む (連続3回)	太田道灌が膝折に着陣したことが書かれた「太田道灌状」をさまざまな視点から学習する。 ①太田道灌状に見る「太田道灌」 ②太田道灌状と街道・交通 ③太田道灌状から見る陣・城	一般	①2月22日(土) ②2月29日(土) ③3月7日(土) 各回とも 午後2時～3時30分 瑞穂町郷土資料館 学芸員 北爪寛之 氏	定員 各回40人 <input type="checkbox"/> 中止
古文書講座	はじめての古文書 (連続6回)	朝霞市内に残されている古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。	一般	①1月12日(日) ②1月26日(日) ③2月9日(日) ④2月23日(日) ⑤3月8日(日) ⑥3月22日(日) 各回とも 午前10時～正午 立正大学特任講師 栗原健一 氏	①39 ②41 ③39 ④— ⑤— ⑥— 119 ④～⑥ <input type="checkbox"/> 中止

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
博物館 体験教室	全3回	伝統文化や歴史への興味と理解を喚起すべく、各種の体験教室を実施した。			
	①ステンドグラス 制作体験	色板ガラスとはんだを使ってステンドグラスの作品を制作した。また、同日開催中の「朝霞市県展作品展」関連美術講座としても位置づけた。	一般	9月23日(月・祝) 午後1時30分～3時 ガラス作家 関野栄美 氏	13
	②おりがみで干支を 折ろう!	入退室自由の会場にて、令和2年の干支である「子」を折り紙で制作した。	どなたでも	1月5日(日) ①午前9時30分～正午 ②午後1時～4時30分 日本折紙協会講師 本多秀子 氏	①18組31 ②28組57 46組88
	③糸車で糸を紡ごう	綿繰り機で綿の実から種を取り、糸車を回して綿から糸を紡ぐ体験をする。	どなたでも (小学生以下は保護者同伴)	3月29日(日) ①午後1時30分 ②午後2時40分 ※各回50分程度 染織サークルあかね	定員 各回5組 中止
夏休み 体験教室	全4回	夏休み自由研究の一助となるような各種体験教室を実施した。	小学生		
	①石を磨いてアクセサリをつくろう!	身近な川原石の姿を観察し、磨く加工を施した。採集時の風化した外見は、本来の姿とは異なることを学んだ。	小学3～ 6年生	7月26日(金) 午後1時30分～3時30分 当館専門調査員 青木修 補助： 当館学芸員 安田脩一 学芸員実習生	18
	②コースターを 織ろう!	簡単な織機で、コースターを織った。身近な材料を使って、織物の原理を学んだ。	小学生	8月2日(金) 午後1時30分～3時 当館専門調査補助員 菅井美穂子 補助： 当館学芸員 伊藤麻紀子 学芸員実習生	20
	③博物館の裏側を 探検!	普段見ることのできない収蔵庫など博物館の裏側を探検した。	小学生	8月16日(金) ①午前10時～11時 ②午後1時30分～2時30分 当館館長 関口豊樹	①12 ② 7 19
	④葉脈標本を つくろう!	薬品で葉を葉脈だけにし、樹脂に封入して飾り物を作った。	小学生	8月23日(金) 午後1時30分～3時 当館専門調査員 青木修 補助： 当館学芸員 安田脩一	19

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
博学 連携 事業	小学校6年生 博物館利用授業	歴史学習を始める6年生を対象に、火おこし体験教室を実施した。 ※学校希望により全校出張授業	市内・近隣 小学校 6年生	①4月25日(木)二小4C ②4月26日(金)八小4C ③5月21日(火)十小3C ④5月23日(木) 和光市立広沢小2C ⑤6月8日(土)六小4C	①133 ②156 ③99 ④60 ⑤154 5校 602
	小学校3年生 博物館利用授業	郷土学習を始める小学校3年生を対象に、昭和30～40年代頃の生活道具について、調べ学習や体験学習による授業を行った。 ※バス借上げによる来館児童送迎あり(教育指導課予算)。	市内 小学校 3年生	①1月10日(金)五小5C ②1月15日(水)七小4C ③1月17日(金)四小3C ④1月21日(火)三小3C ⑤1月23日(木)六小4C ⑥1月29日(水)二小4C ⑦1月30日(木)十小3C ⑧1月31日(金)九小2C ⑨2月4日(火)八小3C ⑩2月5日(水)八小2C ⑪2月7日(金)一小3C	①159 ②140 ③121 ④117 ⑤160 ⑥126 ⑦97 ⑧53 ⑨118 ⑩78 ⑪96 10校 1,265
	小学校1年生 博物館利用授業	小学校1年生国語科「たぬきの糸車」に伴う糸車体験教室を実施した。 ※全校出張授業	市内 小学校 1年生	①2月13日(木)八小2C ②2月14日(金)八小3C ③2月18日(火)七小4C ④2月19日(水)二小4C ⑤2月20日(木)九小3C ⑥2月21日(金)六小5C ⑦2月26日(水)一小3C ⑧2月26日(水)八小1C ⑨2月27日(木)三小4C ⑩3月3日(火)十小4C ⑪3月4日(水)五小5C ⑫3月5日(木)四小3C	①69 ②108 ③123 ④136 ⑤72 ⑥162 ⑦93 ⑧34 ⑨116 ⑩— ⑪— ⑫— 7校 913 ⑩～⑫ 3校 中止
	博物館利用検討委員会	市内小中学校教諭からなる同委員会にて、上記プログラムなどの博学連携事業、その参考資料となる刊行物作成等について検討し、学校の博物館利用促進を図った。夏季研修会では、展示・収蔵庫見学、体験実習を実施した。	市内 教職員	定例会 ①6月7日(金) ②2月18日(火) 研修会 7月23日(火) 当館学芸員 安田脩一 主催：博物館利用 検討委員会	定例会 ①19 ②18 研修会 11 48
	小学校3年生 博物館利用授業説明会	小学校3年生博物館利用授業にあたり、バス利用や博物館展示資料等の説明を行った。	市内小学 3年生 担任等	6月7日(金) 当館学芸員 安田脩一	15
	博物館実習	学芸員養成課程履修学生の館務実習を受け入れた。	大学生	7月25日(木) ～8月6日(火)	6 大学 6
調査	古文書調査	市内田島地区に伝残した古文書の解読を行った。	通年		

3 刊行物・広報

刊 行 物	『テーマ展示 朝霞市県展作品展』	リーフレット 1,200部 (令和元年9月 3日発行)
	『博物館は発見がいっぱい! 2019』 ※夏季催事情報掲載、市内小学校全児童配布	リーフレット 10,000枚 (令和元年6月28日発行)
	『第34回企画展 朝霞から見る古墳の出現 ～方形周溝墓から古墳へ～』	展示図録 850部 (令和元年11月9日発行)
	『ギャラリー展示 雑誌「ゴルフ」と朝霞ゴルフ場』	リーフレット 1,000部 (令和2年1月25日発行)
	『朝霞市博物館利用事業資料集Ⅲ』 ※市内小中学校全教職員配布	650部 (令和2年3月31日発行)
	『朝霞市博物館研究紀要』第17号	500部 (令和2年3月31日発行)
広 報	記者発表による報道機関等への周知を行うと共に、報道機関等からの取材に対し、企画展・講座等の博物館事業の情報提供等を行った。 また、『広報あさか』及び朝霞市ホームページに事業情報を掲載し、メール配信サービスにて情報を配信するなど、広報に努めた。	記者発表：3回 新聞社：5件 テレビ、ラジオ：5件 情報誌等：7件 広報あさか：毎月号 ホームページ：随時更新 メール配信サービス登録者：随時

4 調査研究成果

(1) 『朝霞市博物館研究紀要 第17号』

【目次】 「黒目川の植物」 青木修

「資料紹介 午房地山横穴墓群出土の須恵器について」 江原順

「史料紹介 「諸用御調控蝶」－旗本富永氏の勝手賄御改正と村役人－」 関口豊樹

「史料紹介 享保十一年新河岸川河道改修について」 加瀬勝一

「史料紹介 朝霞市内の助郷史料－慶応元年蕨宿助郷免除願について－」 宮澤歩美

5 会議等

令和元年10月16日(水) 令和元年度第1回博物館協議会 委員7人(事務局2人)

令和2年2月7日(金) 令和元年度第2回博物館協議会 委員8人(事務局4人)

6 その他

(1) 展示室天井耐震工事による休館

平成31年3月16日(土)～令和元年7月19日(金)

※休館期間は、工事進捗により当初予定の6月28日(金)から延長

(2) 令和元年台風19号による影響

令和元年10月12日(土)開催予定の催物中止(テーマ展示パネルトーク1回)

(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響

①令和2年2月22日(土)以降開催予定の催物中止(3講座7回)

②令和2年3月2日(月)以降の小学校休校に伴う博学連携事業中止(3校12クラス)

令和 2 年度事業計画及び進捗報告

令和2年度(2020年度)朝霞市博物館事業計画及び報告

令和2年(2020年)4月1日(水)～令和2年(2020年)9月30日

令和2年10月1日現在

1 令和2年度利用統計

年 度	開館日数	入館・利用者数 (団体含)	学校団体		一般団体	
			団体数	人 数	団体数	人 数
令和2年度 (～9月末日)	102日	6,632人	1	6人	0	0人
平成元年度	206日	31,770人	36	2,924人	170	1,777人
平成8～30年度	6,313日	1,103,348人	859	64,525人	2,741	36,576人
合 計	6,621日	1,141,750人	895	67,449人	2,911	38,353人

2 令和2年度事業計画及び報告

※展示の参加者数は入館・利用者数から出張事業人数を除いたもの

事 業 名		趣 旨・内 容	対 象	日 程・講 師	参加者数 (人)
常 設 展 示	考古分野 「遺跡が語る朝霞」 歴史分野 「陸の道と水の道」 民俗分野 「水となりわい」	朝霞の歴史や文化について、遺跡とその出土品、川越街道と膝折宿、舟運と東上線、水車利用の伸銅を取り上げ、エポック展示として紹介する。	—	通年	6,632
	民俗分野 「むかしの暮らし」	昭和30～40年代頃の暮らしの風景や道具を紹介する。		通年	
	美術・工芸分野 「朝霞の美術・工芸」	市内に伝わる染色、仏像・神像を取り上げ紹介する。		①4月1日(水) ～7月19日(日) ②令和3年 1月5日(火) ～3月31日(水)	①2,430
企 画 展 回	黒目川左岸の弥生時代～西久保・宮山遺跡とその周辺～	小規模な調査が散発的に行われているため全体像の把握が難しい黒目川左岸の弥生時代の様相について、これまでの調査結果の一旦のまとめを試みる。	—	10月10日(土) ～11月23日(月・祝)	中止
テ ー マ 展 示	黒目川のひみつ	小中学生の夏休み期間に合わせ、自由研究の一助となる展示を行う。黒目川の流路の景観をたどり、そこに棲む動植物や川と人との関わりについて、当館調査成果をまとめ紹介する。	—	7月23日(木・祝) ～8月30日(日)	中止
	朝霞市県展作品展	第70回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入選作品等を集めて紹介する。	—	9月12日(土) ～9月27日(日)	中止

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
ギャラリー 展示	雑誌『ゴルフ』と朝霞 ゴルフ場	昭和6年から15年まで刊行された雑誌『ゴルフ』に掲載された朝霞ゴルフ場の姿を資料やパネルで紹介した。	—	4月1日(水) ～6月7日(日) ※前年度継続事業 1月25日(土)～	783人 ※前年度～ 6,655人
	みんなあーちすと	テーマを決めた絵画作品を募集し、①ワークショップを開催するとともに、②ワークショップ参加者の部と、③本企画参加の保育園・幼稚園の部に分けて展示する。	—	①7月23日(木・祝) ～8月23日(日) ②9月5日(土) ～9月13日(日) ③9月16日(水) ～9月27日(日)	中止
	写真展～旧高橋家住宅の夏景色～	重要文化財旧高橋家住宅を調査や広報のために撮影してきた写真の中から、初夏から晩夏にかけての写真を展示した。	—	8月1日(土) ～9月27日(日)	3,313
	写真展～旧高橋家住宅の秋模様～	重要文化財旧高橋家住宅を調査や広報のために撮影してきた写真の中から、秋から冬にかけての写真を展示する。	—	10月10日(土) ～12月13日(日)	
	冬のギャラリー展示	朝霞の歴史・民俗・美術に関わるテーマで、写真パネルを中心とした展示を行う。	—	令和3年 1～3月 ※次年度継続事業 ～6月	
収蔵資料紹介展示	教科書ー学びとともにあるもの 明治から現代ー	明治から現代の教科書の移り変わりについて、博物館収蔵資料により紹介した。	—	8月1日(土) ～9月27日(日)	3,313
	当館における資料の三次元計測技術の試験的導入に向けての取り組みについて	当館で導入の検討を始めた収蔵資料の三次元測定について、今日までの取り組みの成果を紹介する。	—	10月10日(土) ～12月13日(日)	
資料紹介展示	小学校1年生博物館利用授業関連展示「ワタから糸へ」	小学校1年生国語科「たぬきの糸車」に関連して、綿から糸が出来るまでについて博物館資料により紹介した。 ※展示ケース1台による	—	4月1日(木) ～6月7日(日) ※前年度継続事業 2月13日(木)～	783人 ※前年度～ 6,655人
	博物館実習生展示「①朝霞で楽しもう」「②煮炊きの道具たち」	博物館実習生2班が、それぞれテーマを設けて収蔵資料を紹介した。 ※展示ケース2台による	—	8月26日(水) ～9月27日(日)	1,680
生体展示	朝霞で見られる水の生き物	ラウンジ脇にて、ギンブナやナマズ、ドジョウ、アメリカザリガニなどの生体展示を行う。	—	通年	6,632
	博物館で生まれたカブトムシ	エントランスにて、当館飼育のカブトムシの生体展示を行う。	—	7月12日(日) ～8月23日(日)	2,851人

事業名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数(人)
埼玉県立自然の博物館 研究発表会 共催：埼玉県立 自然の博物館	「むさしのフロントあさか」 にちなんだ武蔵野台地をテーマにした講演①②及び植物・昆虫・古生物・動物の分野から研究発表③～⑥を行う。 ①足元を知ろう！ 武蔵野台地の成り立ち ②文化財に見る武蔵野の 自然と人とのかかわり -天然記念物を通して- ③新人学芸員から見た 埼玉の植物の面白さ ④セイボウの生態学 -ついに発見 絶滅危惧種 ムサシトゲセイボウ- ⑤化石からひもとく 海産貝類の進化 ⑥埼玉のネズミ事情	一般	12月5日(土) 午前10時30分～正午 ①主任学芸員 井上素子 氏 ②学芸員 木山加奈子 氏 午後1時～3時10分 ③学芸員 鐵慎太郎 氏 ④学芸員 半田宏伸 氏 ⑤学芸員 山岡勇太 氏 ⑥学芸員 奥村みほ子 氏 いずれも埼玉県立自然の博物館	定員30
歴史講座 (連続3回)	朝霞や周辺地域における郷土史について学習する。	一般	1～3月 講師：大学教授等	
古文書講座 (連続6回)	朝霞市内に残されている古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。	一般	①1月24日(日) ②1月31日(日) ③2月14日(日) ④2月28日(日) ⑤3月7日(日) ⑥3月14日(日) 各回とも 午前10時～正午 立正大学特任講師 栗原健一 氏	定員30
博物館体験教室	全5回	小学生 など	年間 ※4～9月中2回予定	中止
	①火おこしに挑戦!	どなたでも	5月3日(日・祝) ①午後1時30分～2時15分 ②午後2時30分～3時15分 当館学芸員	中止
	②スタンドグラス制作体験	一般	9月	中止
	③おりがみで干支を折ろう!	どなたでも	1月	

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
博物館体験教室	④石臼ごろごろ	石臼で米などを挽き、粉にする体験をする。	どなたでも	2月	
	⑤糸車で糸を紡ごう	綿繰り機で綿の実から種を取り、糸車を回して綿から糸を紡ぐ体験をする。	どなたでも (小学生以下は保護者同伴)	3月	
体験教室 夏休み	全3回	夏休み自由研究の一助となるような各種体験教室を実施する。	小学生	夏休み期間中	中止
博学連携事業	小学校6年生 博物館利用授業	歴史学習を始める6年生を対象に、火おこし体験教室を実施する。 ※学校希望により全校出張授業	市内・近隣 小学校 6年生	1学期	中止
	小学校3年生 博物館利用授業	郷土学習を始める小学校3年生を対象に、昭和30～40年代頃の生活道具について、調べ学習や体験学習による授業を行う。 ※バス借上げによる来館児童送迎あり(教育指導課予算)。	市内 小学校 3年生	3学期	中止
	小学校1年生 博物館利用授業	小学校1年生国語科「たぬきの糸車」に伴う糸車体験教室を実施する。 ※全校出張授業	市内 小学校 1年生	3学期	
	博物館利用検討委員会	市内小中学校教諭からなる同委員会にて、上記プログラムなどの博学連携事業、その参考資料となる刊行物作成等について検討し、学校の博物館利用促進を図る。夏季研修会では、展示・収蔵庫見学、体験実習を実施する。	市内 教職員	主催：博物館利用 検討委員会	中止
	博物館実習	学芸員養成課程履修学生の館務実習を受け入れる。	大学生	8月18日(火) ～8月25日(火) 【6日間】	4大学 4
調査	古文書調査	市内田島地区に伝残した古文書の解読を行う。		通年	—

3 刊行物・広報

- ・ 4～9月は刊行物の発行はなし

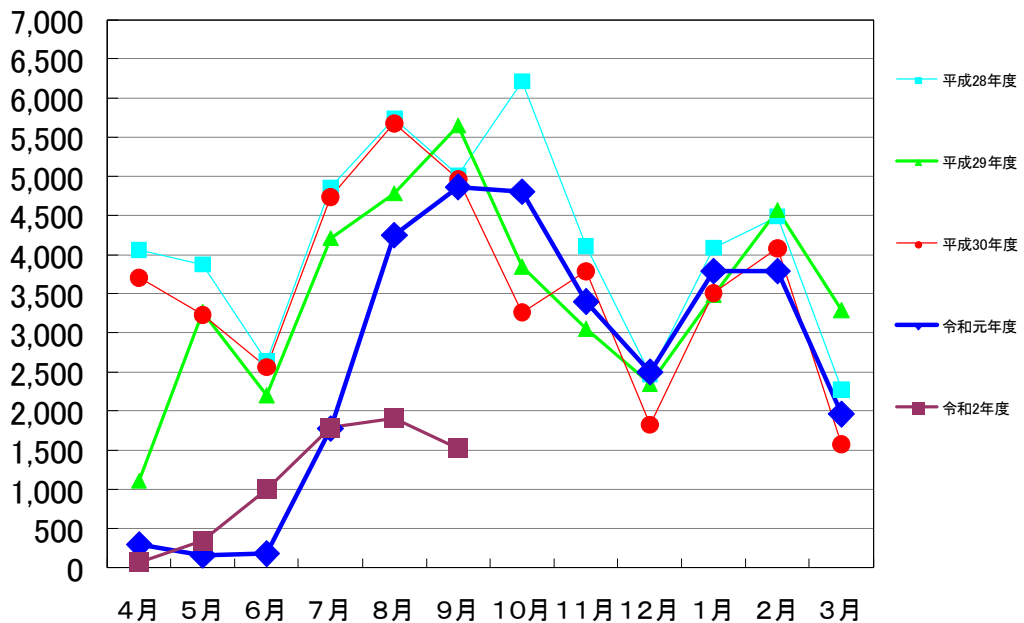
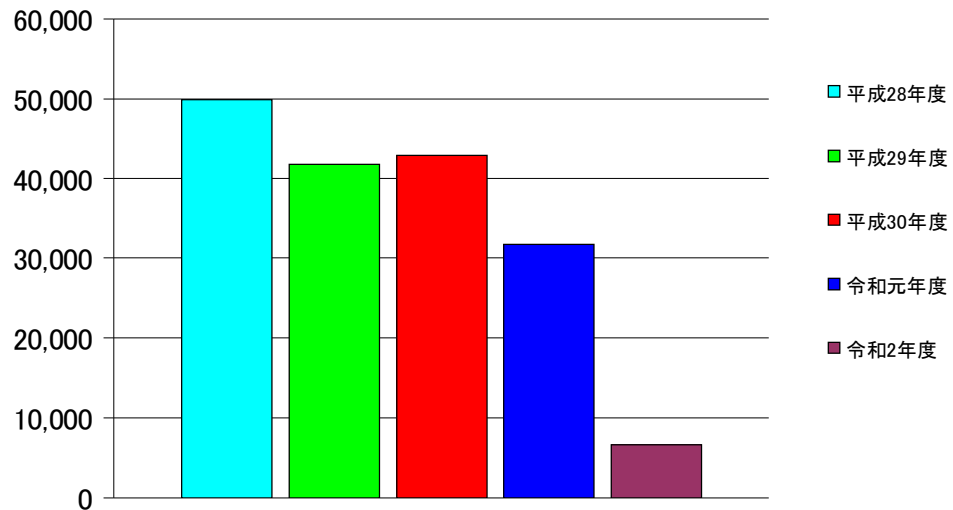
広 報	記者発表による報道機関等への周知を行うと共に、報道機関等からの取材に対し、企画展・講座等の博物館事業の情報提供を行う。 また、「広報あさか」及び朝霞市ホームページに事業情報を掲載し、メール配信サービスにて情報を発信するなど、広報に努める。	新聞社：1件 情報誌等：1件 広報あさか：毎月号 ホームページ：随時更新 メール配信サービス登録者：随時
--------	--	--

4 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休館
4月 2日(木)～5月25日(月)【54日間】
- (2) 館内くん蒸による臨時休館
6月12日(金)～6月18日(木)【7日間】

利用統計 平成28年度～令和2年度(令和2年9月末現在)

年数	21			22			23			24			25		
	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
年度	開館日数	入館者数	平均入館者数	開館日数	入館者数	平均入館者数	開館日数	入館者数	平均入館者数	開館日数	入館者数	平均入館者数	開館日数	入館者数	平均入館者数
4月	25	4,060	162	7	1,112	159	25	3,705	148	0	289	—	1	69	69
5月	24	3,872	161	25	3,270	131	25	3,232	129	0	159	—	6	345	58
6月	19	2,635	139	19	2,202	116	19	2,560	135	0	179	—	18	1,001	56
7月	27	4,856	180	26	4,212	162	26	4,737	182	10	1,779	178	27	1,787	66
8月	25	5,735	229	27	4,780	177	27	5,679	210	27	4,251	157	25	1,906	76
9月	25	5,015	201	26	5,650	217	26	4,963	191	24	4,864	203	25	1,524	61
10月	25	6,214	249	25	3,846	154	26	3,264	126	27	4,807	178			
11月	24	4,110	171	26	3,050	117	26	3,789	146	26	3,399	131			
12月	22	2,472	112	21	2,348	112	22	1,825	83	22	2,501	114			
1月	22	4,084	186	22	3,481	158	22	3,510	160	22	3,794	172			
2月	23	4,489	195	23	4,569	199	23	4,082	177	23	3,789	165			
3月	19	2,277	120	25	3,290	132	13	1,573	121	25	1,959	78			
	280	49,819	178	272	41,810	154	280	42,919	153	206	31,770	154	102	6,632	65



新型コロナウイルス
感染拡大防止対策について

●新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響

①臨時休館

4月2日(木)～5月25日(月)【54日間】

②事業の中止

展示4本

博物館体験教室5回中2回

夏休み体験教室1本(計3回)

博学連携事業：小学校1年生以外全て・団体見学含む

③代替展示の実施

ギャラリー展示2本

収蔵資料紹介展示2本

③臨時休館後開館時の感染症拡大防止対策の実施

●感染症拡大防止対策の実施経緯

- ・5月26日(火)～ 掲示物による周知、消毒液の設置
利用の制限(1)図書室・映像コーナー使用不可、イス全撤去、チラシラック撤去、展示室ハンズオン撤去、タッチパネル等稼働不可、冷水器使用不可、団体不可
- ・5月30日(土)～ 来館者アンケート撤去
- ・6月20日(土)～ 展示監視員雇用(～12月31日(木)予定)
1日あたり1人・10:00～16:00(昼休み12:30～13:30)
業務内容：来館者への注意喚起、定期消毒(13:30～)
- ・6月25日(木)～ 利用の制限(2)ラウンジイス(ソファの代替)2脚設置、チラシラック設置
- ・7月11日(土)～ 利用の制限(3)映像コーナー使用可(イス2脚)、ラウンジ机1&イス1×3セット設置、展示室おはなしポール設置(座席2箇所)、タッチパネル等稼働可(展示監視員が随時清掃)
- ・7月28日(火)～ LINE 埼玉コロナお知らせシステム登録
- ・10月1日(木)～ 利用の制限(4)図書室使用可(机1&イス2横並び・机にアクリルパネル設置)、博物館関連3団体利用可

●博物館の感染症拡大防止対策 R2.10.1～ ※職員に配布し、周知徹底を図る

1 博物館正面玄関、ギャラリー、展示室入口に掲示。

①発熱など、体調の優れない方はご来館をお控えください。

②団体でのご来館は、申し訳ございませんがご遠慮ください。

※少なくとも10月中は団体自粛継続。講座室利用の3団体はOK。【館長より】

③館内では、人と人との間隔をあけてください

※距離(2m)を分かりやすくするために表示する

④会話はなるべくお控えください

⑤マスクの着用、手指の消毒をお願いします

⑥混雑時は入場制限を行う場合があります。

⑦ご自身で来館日時の記録をお願いします。

例)・Googleアプリのロケーション履歴の使用

・iphoneの「利用頻度の高い位置情報」の使用 など

※エントランスのみ、彩の国LINEアプリの案内も掲示。

- 2 エントランス及び展示室入口に消毒液を設置。
- 3 消毒の実施 ※液晶画面は水拭き。他は高濃度アルコール等消毒液
 - ・ 随時：展示室内の触れるもの（液晶画面等） ⇔ 10:00-16:00 展示監視員
 - ・ 定期：館内の不特定多数が触れる箇所（テーブル、イス、ドアノブなど）
⇔ 朝・夕は清掃員。昼は展示監視員
- 4 館内イス等のソーシャルディスタンスを保つ
 - ・ ラウンジ：ソファを撤去し、一人掛けのイスを設置し、座席の間隔を空ける。
2席×2台=4席 → 1人掛け×2脚=2席 6/25～
 - ・ ラウンジ：座席数を減らし、対面にならないよう横並びに配置する。
4人掛け×3卓=12席 → 1人掛け×3卓=3席
 - ・ 映像コーナー：座席数を減らし、座席ごとの間隔を空ける。
5席 → 2席
 - ・ おはなしポール：座席数を減らす（貼紙を置く）
4席×2台=8席 → 2席（背中合わせ）×2台=4席 ※4枚貼紙
- 5 【新規】図書室を感染症対策を施し、開室。
 - ・ 机・イスのソーシャルディスタンスを保つ
：座席数を減らし、横並びに配置。机と机の間を空ける
イス4×机3=12席 → イス2（横並び・入り口側向）×机3=6席
机間は座っている状態で前の人との間を2m空けるようにする。
 - ・ 換気：開室時は、ドア2箇所（エントランス側は両方）&窓2箇所（網戸で）を開放。
 - ・ 机上に感染症対策等注意喚起キャプションを立てる（席ごとに1個=6個）
 - ・ 書庫との間のドアは常時閉めておく。
 - ・ 利用について：時間制限なし。先着順。
 - ・ 清掃・消毒：開館前・閉館間際（利用者がいる場合はなし）
 ※対外的には、10/1 更新でHPにて告知する。
- 6 窓口にビニールシートでシールドを設置。飛沫予防を行う。

【NG】団体利用（入館・部屋利用）、冷水器（手前にパーテーション設置・貼紙）、エントランス木製ベンチ（ベンチごと覆う）
展示室内（撤去）：土器パズル、水車手回し模型、木製ベンチ